



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月2日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,713	8.0	743	116.1	1,000	181.5	823	263.4
30年3月期第1四半期	7,140	△3.5	344	△8.2	355	—	226	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △221百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 △202百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	27.77	—
30年3月期第1四半期	8.05	8.03

(注) 31年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	39,349	32,387	82.3	1,092.61
30年3月期	40,377	32,874	81.4	1,108.57

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 32,387百万円 30年3月期 32,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	△3.3	700	△27.3	800	△24.8	500	10.2	16.87
通期	28,000	△6.2	1,200	△12.5	1,300	12.8	900	△2.6	30.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	29,662,851株	30年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	21,080株	30年3月期	21,056株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	29,641,828株	30年3月期1Q	28,142,069株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算の経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、主要国間の貿易摩擦問題に対する警戒感が強まりましたが、米国・欧州とも総じて堅調な景気回復が持続いたしました。また、国内経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境について、ゲーミング市場では、北米地域において大型減税の影響によると思われる活発な買替需要があり、また、コマース（金融・流通・交通等）市場では、特に欧州や日本において堅調な需要がみられました。一方、日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、業界における規制強化の影響を受けて、顧客の設備投資意欲の減退が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、ゲーミング市場向けには、紙幣識別機ユニットや新規商材の販売により積極的な需要確保に取り組み、コマース市場向けには、高付加価値製品の販売拡大と、経済発展の著しいアジア地域における市場開拓に努めました。また、遊技場向機器市場については、販売拠点の統廃合や固定費の削減など事業再構築プランを進めながら、収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、主として北米ゲーミング市場向けの販売が好調であったことから、当第1四半期連結累計期間における売上高は、77億13百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。利益面では、営業利益は7億43百万円（前年同四半期比116.1%増）、経常利益は10億円（前年同四半期比181.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億23百万円（前年同四半期比263.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドル107.50円（前年同四半期は112.85円）、ユーロは132.39円（前年同四半期は120.21円）で推移いたしました。また、当第1四半期連結会計期間末の時価評価に適用する四半期末日の為替レートは、米ドル110.54円（前連結会計年度末は106.31円）でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域では既設カジノホールのリニューアル工事を中心に設備投資意欲が旺盛であったことから、紙幣識別機ユニットの販売が好調に推移し、また、欧州地域ではドイツにおけるゲーム機に関する基準改定（仕様変更）に伴う紙幣還流ユニットの買替需要が続いたことなどにより、当セグメントの売上高は43億41百万円（前年同四半期比16.6%増）、セグメント利益は9億65百万円（前年同四半期比61.2%増）となりました。

②海外コマース

欧州地域での紙幣還流ユニットの販売は増加いたしました。中国・インド等、アジア市場向けの販売が伸び悩んだことなどにより、当セグメントの売上高は8億84百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。その一方で、利益率の高い製品の販売が増加したことにより、セグメント利益は76百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

③国内コマース

金融市場向け紙幣還流ユニットの販売に加え、大手OEM顧客向け各種貨幣処理機器ユニットの販売が好調であったことなどにより、当セグメントの売上高は6億81百万円（前年同四半期比40.2%増）、セグメント利益は1億7百万円（前年同四半期比536.3%増）となりました。

④遊技場向機器

メダル自動補給システムなど主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は18億6百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。一方で、事業再構築プランによる収益性の改善に努めたことにより、セグメント利益は1億2百万円（前年同四半期比338.1%増）となりました。

(2) 財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて10億27百万円減少し、393億49百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億8百万円減少し、266億73百万円となりました。「受取手形及び売掛金」が3億5百万円減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億18百万円減少し、126億76百万円となりました。「のれん」等の無形固定資産の償却が進んだことにより、無形固定資産が4億73百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて5億40百万円減少し、69億62百万円となりました。「賞与引当金」が1億99百万円、「支払手形及び買掛金」が1億59百万円、及び、「事業構造改善引当金」が1億4百万円、それぞれ減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億87百万円減少し、323億87百万円となりました。在外子会社の時価評価による為替換算調整勘定が大幅に減少したことから減少いたしました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、2億61百万円増加し、91億50百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億72百万円の資金の増加となりました。税金等調整前四半期純利益10億14百万円などの資金の増加を計上した一方、引当金の減少3億26百万円などの資金の減少を計上いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億57百万円の資金の減少となりました。有形固定資産の取得による支出1億52百万円などの資金の減少を計上いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億71百万円の資金の減少となりました。配当金の支払額2億52百万円などの資金の減少を計上いたしました。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額80百万円の資金の減少がありました。

(4) 今後の見通し

北米ゲーミング市場は、引き続き好調を維持するものと思われませんが、欧州ゲーミング市場では、本年11月のゲーム機に関する基準改定(規制強化)以降は、需要の減退を見込んでおります。

また、国内の遊技場向機器事業では、前期に実施した事業再構築プランについては、一定の効果があつたものの、風営法の改正が業界に与える影響がまだ不透明であり、顧客の投資意欲に好転の気配が見られないことから、抜本的な業績の回復には至らず、引き続き厳しい状況が続くものと思われま

す。以上のことから、当第2四半期及び下半期の業績動向については、慎重に精査を行う必要があると考え、平成31年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成30年5月10日付決算短信の発表数値から変更しておりません。今後の需要動向による業績への影響などを確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,908,786	9,170,732
受取手形及び売掛金	6,373,385	6,068,155
有価証券	90,553	32,006
商品及び製品	7,643,992	6,924,024
仕掛品	557,802	764,298
原材料及び貯蔵品	2,957,304	3,036,538
その他	844,838	858,140
貸倒引当金	△194,891	△180,709
流動資産合計	27,181,771	26,673,187
固定資産		
有形固定資産	4,967,151	4,951,333
無形固定資産		
のれん	2,052,272	1,891,864
技術資産	301,341	264,862
顧客関連資産	3,011,584	2,772,449
商標権	404,088	372,480
その他	130,028	124,059
無形固定資産合計	5,899,315	5,425,715
投資その他の資産		
その他	2,383,576	2,354,007
貸倒引当金	△54,690	△54,690
投資その他の資産合計	2,328,886	2,299,317
固定資産合計	13,195,353	12,676,367
資産合計	40,377,125	39,349,554
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,291,816	3,132,217
未払法人税等	776,180	818,388
賞与引当金	391,096	191,457
役員賞与引当金	12,000	—
事業構造改善引当金	133,930	29,195
その他	2,330,660	2,283,262
流動負債合計	6,935,683	6,454,520
固定負債		
その他	567,330	508,009
固定負債合計	567,330	508,009
負債合計	7,503,014	6,962,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,759,048	2,759,065
利益剰余金	27,515,256	28,086,416
自己株式	△19,010	△19,064
株主資本合計	32,472,240	33,043,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	443,467	385,016
為替換算調整勘定	△55,580	△1,041,355
その他の包括利益累計額合計	387,886	△656,339
新株予約権	13,984	—
純資産合計	32,874,111	32,387,023
負債純資産合計	40,377,125	39,349,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	7,140,115	7,713,562
売上原価	4,300,465	4,524,386
売上総利益	2,839,650	3,189,176
割賦販売未実現利益戻入額	12,702	11,114
割賦販売未実現利益繰入額	11,420	8,308
差引売上総利益	2,840,932	3,191,981
販売費及び一般管理費	2,496,906	2,448,491
営業利益	344,026	743,490
営業外収益		
受取利息	325	2,043
受取配当金	13,893	16,762
為替差益	7,312	219,112
その他	5,972	19,674
営業外収益合計	27,503	257,593
営業外費用		
支払利息	10,776	349
その他	5,324	236
営業外費用合計	16,100	585
経常利益	355,429	1,000,498
特別利益		
固定資産売却益	343	—
投資有価証券売却益	3,786	—
新株予約権戻入益	—	13,984
特別利益合計	4,130	13,984
特別損失		
固定資産除却損	0	343
特別損失合計	0	343
税金等調整前四半期純利益	359,560	1,014,139
法人税、住民税及び事業税	143,043	192,190
法人税等調整額	△9,970	△1,167
法人税等合計	133,073	191,023
四半期純利益	226,486	823,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	226,486	823,115

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	226,486	823,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204,577	△58,451
為替換算調整勘定	△633,657	△985,774
その他の包括利益合計	△429,079	△1,044,226
四半期包括利益	△202,592	△221,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△202,592	△221,110
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	359,560	1,014,139
減価償却費	237,809	221,615
のれん償却額	47,612	45,905
引当金の増減額 (△は減少)	△205,359	△326,084
受取利息及び受取配当金	△14,218	△18,806
支払利息	10,776	349
為替差損益 (△は益)	△18,011	△193,074
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,786	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△343	343
新株予約権戻入益	—	△13,984
売上債権の増減額 (△は増加)	350,396	35,237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△464,104	64,053
仕入債務の増減額 (△は減少)	334,020	68,044
未収消費税等の増減額 (△は増加)	65,580	126,622
その他	△68,530	△151,777
小計	631,401	872,583
利息及び配当金の受取額	14,390	18,635
利息の支払額	△10,776	△349
法人税等の支払額	△122,002	△118,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	513,012	772,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△51	△14
有形固定資産の取得による支出	△221,239	△152,431
有形固定資産の売却による収入	352	—
無形固定資産の取得による支出	△12,099	△4,980
投資有価証券の取得による支出	△389	△375
投資有価証券の売却による収入	5,047	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,380	△157,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△227,308	△252,460
リース債務の返済による支出	△20,729	△19,401
自己株式の取得による支出	△113	△113
自己株式の売却による収入	—	76
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	2,291,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,042,848	△271,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81,702	△80,880
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,245,777	261,946
現金及び現金同等物の期首残高	7,146,931	8,888,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,392,709	9,150,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,722,196	928,061	485,656	2,004,200	7,140,115	—	7,140,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,722,196	928,061	485,656	2,004,200	7,140,115	—	7,140,115
セグメント利益	599,188	74,089	16,846	23,401	713,525	△369,499	344,026

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,341,742	884,496	681,048	1,806,274	7,713,562	—	7,713,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,341,742	884,496	681,048	1,806,274	7,713,562	—	7,713,562
セグメント利益	965,606	76,083	107,196	102,510	1,251,397	△507,907	743,490

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。